

お客様各位

株式会社富士通ラーニングメディア

「ITパスポート試験 令和3年度春期分」の出題傾向分析について

日頃は、FOM出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

情報処理推進機構(以下、IPA)より4月18日(日)に公開された「ITパスポート試験 令和3年度春期分」の出題傾向を分析しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

【留意事項】

IPAより公開されるのは、CBT試験に出題されている問題から100問を抜粋したものです。この問題は、春期・秋期試験に合わせて年2回公開されることになっています。なお、CBT試験では、受験者ごとに様々な問題がランダムに出題され、同日同会場を受験しても、同じ問題が出題されるわけではありません。

以上の内容をご了承の上、分析結果をご利用ください。

記

1. 出題傾向 ～前回から大きな変更なし～

令和3年度春期分として公開された問題の「カテゴリ別」「問題形式別」の出題傾向は、次のとおりです。

※参考までに直近2回分(令和元年度秋期分、令和2年度秋期分)の数値も記載しています。なお、令和2年度春期分は公開されませんでした(新型コロナウイルスのため令和2年度春期試験全体が中止の影響にて)。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	R元秋 出題数	R2秋 出題数	R3春 出題数
ストラテジ系	企業と法務	11問	12問	11問
	経営戦略	20問	16問	14問
	システム戦略	4問	7問	10問
	小計	35問	35問	35問
マネジメント系	開発技術	8問	5問	6問
	プロジェクトマネジメント	4問	7問	5問
	サービスマネジメント	8問	8問	9問
	小計	20問	20問	20問
テクノロジ系	基礎理論	5問	2問	4問
	コンピュータシステム	11問	10問	9問
	技術要素	29問	33問	32問
	小計	45問	45問	45問
全合計		100問	100問	100問

●問題形式別

問題形式	R 元秋 出題数	R2 秋 出題数	R3 春 出題数
用語(用語の説明や関連する用語を選択する問題)	46 問 (46%)	48 問 (48%)	48 問 (48%)
事例(具体的な事例に基づいて解答する問題)	42 問 (42%)	42 問 (42%)	45 問 (45%)
計算(数値や計算式を求める問題)	8 問 (8%)	7 問 (7%)	5 問 (5%)
表計算(表計算ソフトの利用が問われる問題)	1 問 (1%)	1 問 (1%)	0 問 (0%)
データベース(データベース設計の知識が問われる問題)	3 問 (3%)	2 問 (2%)	2 問 (2%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. FOM テキストの網羅率 ～95%の網羅率を達成～

令和 3 年度春期分として公開された問題のうち、テキストを学習していれば解答を導き出せる問題の比率を示した網羅率は、次のとおりです。

※参考までに直近 2 回分(令和元年度秋期分、令和 2 年度秋期分)の数値も記載しています。なお、令和 2 年度春期分は公開されませんでした(コロナウイルスのため令和 2 年度春期試験全体が中止の影響にて)。

●「令和 2-3 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集」(型番:FPT1911)

テキスト内の解説の有無	R 元秋 網羅率	R2 秋 網羅率	R3 春 網羅率
テキストで解説している問題 (一般的な知識で解答可能なものを含む)	77 問 (77%)	90 問 (90%)	91 問 (91%)
テキストで解説しているが、内容が不足している問題	10 問 (10%)	4 問 (4%)	4 問 (4%)
テキストで解説していない問題	13 問 (13%)	6 問 (6%)	5 問 (5%)
合計	100 問 (100%)	100 問 (100%)	100 問 (100%)

※問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

3. 公開問題分析 ～新傾向の試験問題が定着～

難易度は、前回とほぼ同様でした。

2年前の平成31年(2019年)4月の本試験(CBT試験)からは、第4次産業革命に対応した「シラバス Ver.4.0」の新傾向の試験問題に大きく変更されていましたが、今回もその新出用語に関連する問題数が26問もありました。また、令和3年(2021年)4月の本試験(CBT試験)から適用開始となった「シラバス Ver.5.0」の新出用語に関連する問題数が2問ありました。

今回の試験問題の特徴は、次のとおりです。

- 令和2年(2020年)9月に改訂された「シラバス Ver.5.0」では、AI(人工知能)の利活用が広く進展する中、デジタル社会の基礎知識に関する知識、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力の向上が求められているとし、AI・データサイエンス・DX(デジタルトランスフォーメーション)を中心とした新技術に関する多数の新出用語が追加されていました。シラバス Ver.5.0 の新出用語からは、「PCI DSS」「SECURITY ACTION」の2用語の出題がありました。
- 主な平成30年(2018年)8月に改訂された「シラバス Ver.4.0」では、IoT やビッグデータ、AI(人工知能)などの第4次産業革命に関連する項目や、アジャイルなどの新しい開発手法、最新の情報セキュリティに関連する新出用語や新出項目が数多く追加されており、試験傾向が大きく変更されていました。「シラバス Ver.4.0」で追加された新出用語からの問題は、「ニューラルネットワーク」「機械学習」「コネクテッドカー」「RPA(Robotic Process Automation)」「FinTech」「ビッグデータ」「テレワーク」「暗号資産」「HRTech」「API エコノミー」「かんぱん方式」「アジャイル開発」「リファクタリング」「LPWA」「BLE」「DNS キャッシュポイズニング」「RAT」「バイオメトリクス認証(生体認証)」「耐タンパ性」「ブロックチェーン」「リスクアセスメント」「J-CRAT」「シャドーIT」など多数出題されています。

※弊社の書籍「令和2-3年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集」では、今回出題されたシラバス Ver.4.0 からの新出用語の解説について、すべて解説しておりました。
- 今回も「技術要素」の中分類「9-5 セキュリティ」からの出題数が20問と多かったです(全100問中の構成比として約2割を占めます)。なお、前回の令和2年度秋期分では19問、前々回の令和元年度秋期分では19問であり、今回も継続して約2割出題されています。

主な出題内容として、サイバー攻撃では「DNS キャッシュポイズニング」「RAT」など、セキュリティ対策・技術では「バイオメトリクス認証(生体認証)」「二段階認証」「MAC アドレスフィルタリング」「耐タンパ性」「WPA2」「ISMS」「リスクアセスメント」「ブロックチェーン」「公開鍵暗号方式」などが出題されており、セキュリティに関する幅広い知識が要求されました。今後も同様に高い比重で出題されることが予測されるため、試験対策として用語の意味をしっかりと理解しておく必要があります。
- 今回も「経営戦略」からの出題が14問(前回は16問の出題)と多かったです。経営戦略からは、「ニューラルネットワーク」「機械学習」「アーリーアダプタ」「技術ロードマップ」「コネクテッドカー」「FinTech」「マーチャンダイジング」「プロダクトポートフォリオ」「かんぱん方式」「API エコノミー」「暗号資産」「SCM」「営業支援システム」など、用語の概要を問う問題が幅広く出題されています。

- 問題形式で見ると、「事例」問題は45問、「用語」問題は48問、「計算」問題は5問となっており、前回と同様の傾向でした。「事例」問題を解答するには、単純な用語の暗記だけではなく、関連する周辺の知識まで理解しているかどうかは鍵となります。ただし、試験としては、全体を通して引っ掛け問題や考え込むような複雑な問題はほとんどなく、比較的わかりやすい問題といえます。
- 今回もシラバスに記載されていない内容が出題されており、「ITU(国際電気通信連合)」「二段階認証」「PCI DSS」「SECURITY ACTION」「プロポーショナルフォント」に関する問題が出題されています。
(弊社のテキストは、競合他社に比べて、シラバスの内容の網羅率が圧倒的に高い状況です)

4. 試験動向 ～増加傾向が継続～

●年間の応募者数

令和2年度の実験者数は、昨年度に比べて約3万人の増加となり146,971名でした。コロナウイルスの影響で4月の激減や5月の試験中止の影響がありながら、前年度比で24.6%の大幅増加となり、過去最高となりました。

なお、年間実験者数が14万人を超えるのは、CBT方式への移行後および移行前を通じて(平成21年度の実験パスポート試験が始まって以来)、初となりました。

【ペーパー方式からCBT方式へ移行した平成24年度以降】

年度	上期	下期	合計
平成24年度	30,878名	38,105名	68,983名
平成25年度	32,869名	41,522名	74,391名
平成26年度	33,896名	44,824名	78,720名
平成27年度	35,696名	45,253名	80,949名
平成28年度	37,513名	48,792名	86,305名
平成29年度	40,554名	53,744名	94,298名
平成30年度	45,221名	61,951名	107,172名
令和元年度	52,924名	64,999名	117,923名
令和2年度	52,312名	94,659名	146,971名

●月別実験者数

月別実験者数は、年度末に実験者数が多くなる傾向があります。令和3年度の月別実験者数は、コロナウイルスの影響で4月は1,613名(前年比80%減少)、5月は試験中止にて0名と大きな影響がありながら、6月から3月まで10か月連続で同月別で過去最高を更新しており、その各月で前年同月比を27～62%増と大幅に増加となりました。

平成30年度	実験者数
平成30年4月	6,616名
平成30年5月	6,687名
平成30年6月	7,954名
平成30年7月	7,513名
平成30年8月	7,807名
平成30年9月	8,644名
平成30年10月	8,046名
平成30年11月	7,653名
平成30年12月	10,219名
平成31年1月	9,539名
平成31年2月	10,093名
平成31年3月	16,401名
合計	107,172名

令和元年度	実験者数
平成31年4月	7,876名
令和元年5月	6,877名
令和元年6月	8,932名
令和元年7月	9,083名
令和元年8月	10,073名
令和元年9月	10,083名
令和元年10月	8,365名
令和元年11月	9,326名
令和元年12月	12,282名
令和2年1月	9,969名
令和2年2月	11,382名
令和2年3月	13,675名
合計	117,923名

令和2年度	実験者数
令和2年4月	1,613名
令和2年5月	0名
令和2年6月	11,326名
令和2年7月	11,488名
令和2年8月	13,299名
令和2年9月	14,586名
令和2年10月	13,266名
令和2年11月	13,690名
令和2年12月	15,938名
令和3年1月	12,857名
令和3年2月	16,711名
令和3年3月	22,197名
合計	146,971名

※シラバス Ver.4.0の適用時期:平成31年4月～

※シラバス Ver.5.0の適用時期:令和3年4月～

5. 教材ラインナップ ～目的別に万全のラインナップ～

弊社の「ITパスポート試験」教材のラインナップ(発売中)は、次のとおりです。合格を目指す方の習熟度や利用シーンなどに応じてご用意しており、独学はもちろん、学校での授業の教科書としても利用できる構成です。

なお、現ラインナップはシラバス Ver.4.x 対応版ですが、シラバス Ver.5.0 の適用後の本試験においても、網羅率の高さなどから考えて、十分に利用いただけます。

●書籍

No.	教材名	型番 価格(税込)	説明
1	令和 2-3 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集 ※シラバス Ver.4.0 完全対応版 (シラバス Ver.5.0 補足資料と シラバス Ver.4.1 補足資料を 購入特典でご提供)	FPT1911 2,420 円	試験主催元から提供されているシラバスに沿った目次構成で、シラバスに記載されている用語を詳細解説する「教科書」。出題範囲の体系的な学習に最適。シラバス「Ver.4.0」を完全網羅。 本試験(CBT 試験)さながらに学習できる「過去問題プログラム」をCD-ROM 添付し、過去問題 800 問(8 回分)を収録。全問に詳細な解説付きで、自動採点機能、弱点補強機能、問題検索機能等あり。 ※添付：自動採点付き過去問題プログラム CD-ROM、別冊 予想問題 解答と解説 ※購入特典：過去問題 800 問を Web で学習できる Web 試験付き、解説動画 10 点の視聴可能 (スマホ・タブレット対応)
2	IT パスポート試験 書いて覚える 学習ドリル シラバス Ver.4.1 対応	FPT2005 1,210 円	覚えておくべき用語について、解答を書き込みながら学習を進められる補助教材。重要用語を穴埋め形式で、解答を書き込んで覚えられる。シラバス「Ver.4.1」対応版。 ※添付：別冊 解答
3	IT パスポート試験 直前対策 1 週間完全プログラム シラバス Ver.4.1 対応	FPT2004 1,430 円	試験頻出の用語に絞って解説した、試験直前対策として最適な暗記用の用語集。携帯に便利なポケットサイズ。添付のカラーフィルムを重ねて、重要用語を効率よく覚えられる。シラバス「Ver.4.1」対応版。 ※添付：カラーフィルム

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/itpass/index.html> をご覧ください。

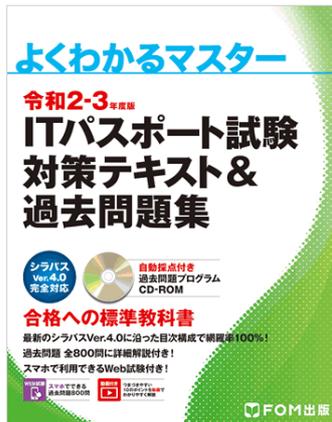
※上記 No.1～4 は、電子書籍でもご提供しています。

FOM出版のITパスポート試験シリーズ

1. しっかり学習

これから対策を始める方へ
完全網羅のメインの1冊

イチから
勉強



教科書と過去問題を
一冊に集約

2. 書いて覚える

対策テキストと併用で
暗記に便利

書くと
覚えやすい

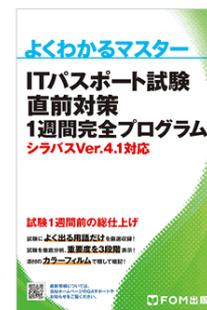


穴埋め形式で
重要用語を確実に暗記

3. 直前チェック

試験直前の方へ
1週間前の総仕上げ

試験まで
あと1週間



携帯に便利なポケット
サイズの重要用語集

※ITパスポート試験シリーズ 特集ページ <https://www.fom.fujitsu.com/goods/lp/itpass/index.html?rep>

●アプリ

No.	教材名	価格 (税込)	説明
1	Android版(Google Play) ITパスポート試験過去問題集 600問 平成27年-平成29年	610円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成27春期、平成27年秋期、平成28年春期、 平成28年秋期、平成29年春期、平成29年秋期 の計600問(6回分)を収録。
2	iOS版 ITパスポート試験過去問題集 600問 平成27年-平成29年	610円	スマホやタブレットで手軽に学習できるアプリ。 平成27春期、平成27年秋期、平成28年春期、 平成28年秋期、平成29年春期、平成29年秋期 の計600問(6回分)を収録。

※詳しくは、<https://www.fom.fujitsu.com/goods/ebook/ap.html> をご覧ください。

以上